



校舎の2階以上を避難所にすべきでは

吉川 三津子議員

校舎利用を盛り込んだ計画をつくる

教育部長



▲廃止予定の避難所
(学校・コミュニティセンター等)

×は、公共施設管理計画で廃止予定の避難所
災計画等に校舎の利用を盛り込み、普通教室や空調のある特別教室を活用する運用を検討する。

【問】愛西市は、浸水すると最大3~5mの深さになる。現在、避難所は体育館が主体だが、浸水すれば使えない。冷暖房やトイレ、調理室がある「校舎の2階以上」を避難所として活用する計画を立てるべきでは。

【答】全小中校で、学校防

と最大3~5mの深さになる。現在、避難所は体育館が主体だが、浸水すれば使えない。冷暖房やトイレ、調理室がある「校舎の2階以上」を避難所として活用する計画を立てるべきでは。

【問】県下71%が計画策定済みだ。教育委員会だけで計画を作つても、実際の災害時に誰が鍵を開け、誰が誘導するかが曖昧では命を守れない。

【問】県下71%が計画策定済みだ。教育委員会だけで計画を作つても、実際の災害時に誰が鍵を開け、誰が誘導するかが曖昧では命を守れない。

【問】県下71%が計画策定済みだ。教育委員会だけで計画を作つても、実際の災害時に誰が鍵を開け、誰が誘導するかが曖昧では命を守れない。

【問】県下71%が計画策定済みだ。教育委員会だけで計画を作つても、実際の災害時に誰が鍵を開け、誰が誘導するかが曖昧では命を守れない。

【問】文科省は、平成28年から避難所として学校機能強化をしなさいと通知を出し、耐震貯水槽、多目的トイレ、車椅子スロープの整備に補助金

【問】文科省は、平成28年から避難所として学校機能強化をしなさいと通知を出し、耐震貯水槽、多目的トイレ、車椅子スロープの整備に補助金

【答】今後、防災担当部局と密に連携していく。

【問】文科省は、平成28年から避難所として学校機能強化をしなさいと通知を出し、耐震貯水槽、多目的トイレ、車椅子スロープの整備に補助金

【問】文科省は、平成28年から避難所として学校機能強化をしなさいと通知を出し、耐震貯水槽、多目的トイレ、車椅子スロープの整備に補助金

【問】学校の統廃合や防災コミュニティセンターの一の廃止が進み、左上図の×印の避難所がなくなると1カ所当たりの避難者が平均190人から320人となる。避

【問】学校の統廃合や防災コミュニティセンターの一の廃止が進み、左上図の×印の避難所がなくなると1カ所当たりの避難者が平均190人から320人となる。避

【問】学校の統廃合や防災コミュニティセンターの一の廃止が進み、左上図の×印の避難所がなくなると1カ所当たりの避難者が平均190人から320人となる。避

【問】共働き世帯が8割を超える中、夏休みの児童クラブ利用料は、2人だと2万4千円かかる。あま市は多子世帯に補助を出している。導入の考えは。

【問】共働き世帯が8割を超える中、夏休みの児童クラブ利用料は、2人だと2万4千円かかる。あま市は多子世帯に補助を出している。導入の考えは。

【問】共働き世帯が8割を超える中、夏休みの児童クラブ利用料は、2人だと2万4千円かかる。あま市は多子世帯に補助を出している。導入の考えは。

【答】限られた財源の中、優先度等を総合的に判断した結果、現時点での軽減予定はない。